

令和元年12月11日に総務生活委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

● ふるさと納税の状況について ●

～内容～

令和元年度ふるさと納税の寄附金の見込み額等について、調査するもの

～質疑～

問：令和元年度の歳入4億2,000万円の見込みに対して、どれぐらいの純利益になりそうか。

答：歳入の半分の2億1,000万円を少し超える額になると見込まれる。

問：ゴルフボールにチュッピーのマークを付けると地場産品になるのか。

答：国の基準で示されているゆるキャラグッズの販売という位置付けで、業者に協力していただき調整をした上で地場産品としている。

当局からの報告事項

● ハザードマップの進捗状況について ●

～内容～

ハザードマップの進捗状況について報告を受けました。

～質疑～

問：具体的な発行日はいつを考えているのか。

答：3月を考えている。広報そうじゃと合わせて配れるよう取り組んでいる。

● 総合計画の後期基本計画について ●

～内容～

第2次総社市総合計画の前期基本計画期間が令和2年度で終了することから、後期基本計画策定のスケジュール等について報告を受けました。

～質疑～

問：令和2年4月から7月までの各種団体との懇談会の実施とは、どのような団体を想定しているのか。

答：前回の計画の策定のときは県大生、子育て世代の方、障がい者の方、外国人住民の方、市民団体・企業、地域づくり協議会の皆様方、校園長会との懇談会などを4箇月間で行っている。これらの団体は必須とし、プラスアルファできればと思う。また、総合計画の審議会でも各種団体代表者としての意見を伺いたい。